

科目名	言語文化		学年	類型・コース	単位数
			1 年	全員履修・普通	2 単位
学習の目 標	平易な古典作品及び近代以降の文学作品に触れて、我が国の言語文化への理解を深める。				
教科書 副教材	主たる教材：「新編言語文化」（東京書籍） 副教材：「新国語総合ガイド」（京都書房）「明鏡国語辞典」（大修館書店）				
評 価	評 価 法	課題考査・定期考査・小テスト・各種課題・ノート等で評価します。			
	評 価 観 点 の 趣 旨	a	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	
		b	思考・判断・表現	論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて他者や社会に関わり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10 の 10 段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5 の 5 段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学期	4 月	6	俵万智「さくらさくらさくら」 作者のものの見方や感じ方を読み取る。	引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。【読むこと】	課題考査	課題考査	ノート
	5 月	8					
	6 月	8	古文に親しむ 『宇治拾遺物語』『児のそら寝』	代表的な古典作品の冒頭部分を読み、それぞれの文章のリズムや調子の違いを感じ取る。【読むこと】	定期考査	定期考査	課題
	7 月	4	現代文と古文の違いを知り、古文に親しむ。	歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。【読むこと】	小テスト	課題	
夏休み			1 学期の内容をもとに課題				
2 学期	9 月	8	芥川龍之介「羅生門」 主題を読み取り、小説を深く味わう。	登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。【読むこと】【書くこと】 比喩等の技巧をとらえ、その効果を考える。【読むこと】	課題考査	課題考査	ノート
	10 月	8					
	11 月	8	『伊勢物語』『芥川』 物語を読み味わう。	歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。【読むこと】	定期考査	定期考査	課題
	12 月	4	和歌を自分の言葉で書き換える	和歌を書き換えることを通して、解釈を深める。【書くこと】	小テスト	課題	
冬休み			2 学期の内容をもとに課題				
3 学期	1 月	6	訓読の基本、 故事成語「守株」「五十歩百歩」	訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。【読むこと】	課題考査 学年末考査	課題考査 学年末考査	ノート 課題
	2 月	6					
	3 月	4	漢詩を読む 孟浩然「春暁」 杜甫「春望」	漢詩の形式やきまりを確認する。漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。【読むこと】	小テスト	課題	

担当者からのメッセージ（学習方法など）
言語文化では、現代文編・古文編・漢文編の三領域の内容を学びます。忘れ物や課題の提出状況は、評価に大きく影響します。積極的な授業への参加を期待します。